

KISC

財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。



5月号

May 2010

今月の表紙

農業で幸せを創る

農商工連携への取組

農業生産法人

有限会社 さかうえ

代表取締役社長 坂上 隆 氏

<企業概要>

所在地：志布志市志布志町安楽2999

創業：平成7年4月

資本金：315万円

従業員数：25名

TEL：099-473-1990

FAX：099-473-1979

E-mail：info@sakaue-farm.co.jp

URL：http://sakaue-farm.co.jp/



<デトコンサイレージ>
(発酵飼料)

今月の表紙は、平成20年12月9日に、「畜産農家ほ場を活用し、飼料生産から堆肥化及び堆肥の地域内還元までの作業を受託する粗飼料供給サービス」で農商工連携事業計画に認定された「農業生産法人有限会社さかうえ」代表取締役社長坂上隆さんです。

この事例は、平成22年4月2日に発表された「農商工連携ベストプラクティス30」にも選ばれました。

有限会社さかうえは、ケールやじゃがいも、さつまいも等の食品加工メーカーとの契約栽培の取引を中心に事業を拡大してきましたが、(財)かごしま産業支援センターの専門家派遣事業等を活用し、野菜を中心にホームページに商品情報を掲載し、通信販売にも取り組んでいます。

地域に根ざした農業を目指し、平成20年3月には「たい肥等を使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行い、環境保全型農業に取り組み、持続性の高い生産方式を導入する計画を立てた農業者」であるエコファーマーの認定も受けています。

また、お客様の様々な要望に応えるための仕組みづくりを行い、土壌分析にはじまる土づくりや栽培記録が蓄積された農業工程管理システムは「デジタルカメラを利用してのシステムにより、高齢な作業でも簡単に操作できる工程管理システムを構築し、農産物の安定供給を実現した点が同業者にとつての模範的事例になる。」と評価され平成21年度九州IT経営力大賞特別賞を受賞しています。



九州IT経営力大賞特別賞受賞
<右が坂上社長

左は社員の小瀬戸さん>

CONTENTS

- 02 今月の表紙
- 03 この人に聞く
- 04 かごしま中小企業応援センターがスタート!
- 06 実践! IT活用
- 08 女性経営者登場
- 09 ベンチャープラザコーナー ⑥7
- 10 鹿児島県から新しい制度のお知らせです
- 11 研究シーズの紹介
- 12 (財)かごしま産業支援センターで新しい事業が始まりました!
- 14 受発注情報
- 15 Information

この人に聞く!

「健康ツーリズムで鹿児島発の成長戦略を」



九州経済産業局長 橋高 公久

～九州版成長戦略の策定～

政府では、6月を目途に我が国の成長戦略と産業構造ビジョンの策定作業を進めています。九州経済産業局では、国の検討と平行して九州の成長戦略を検討することとし、九州各地で意見交換を行っています。皆様からのご意見・ご提案を歓迎いたします。

我が国の一人当たりGDPや産業競争力は、90年頃は世界のトップクラスでしたが、今や20位前後に落ちています。地域経済が長期停滞傾向にあることや少子高齢化対応、雇用の確保も大きな課題です。

このような課題に対応するために、今後、①環境・エネルギー・リサイクル分野、②健康・長寿分野、③食や観光等を活かした地域活性化、そして、④アジアを始めとする国際的交流を柱として我が国の産業を育て、経済成長を確保しようというのが基本的な考えです。

～注目される健康ツーリズム～

さて、鹿児島といえば、九州の中でも個性豊かな土地柄でしょう。「黒」ブランドの食と焼酎、火山と温泉を始めとする豊かな自然、東南アジアとの交易や明治維新など幾多の歴史の舞台でもあります。

その鹿児島で、鹿児島県健康保養地域活性化協議会（有村佳子会長）が母体となって、食と温泉と運動を一体化した「IT湯治」という取組を進めています。のんびり温泉につかりながら、専門家による健康チェックと管理を行いつつ、地域の食を味わう、そして、ゆったりと鹿児島を楽しんでいただくという贅沢な取組です。このような発想は、「健康ツーリズム」として最近注目度が高まっています。

地域の自慢である食と健康と観光の組み合わせは、世界中から幅広い世代の人を引きつける魅力があります。しかも、滞在型・活動型の取組ですから、長期滞在やリピーターが期待できます。また、健康ツーリズムを快適にするためには、健康増進関連事業、外国人向けの料理や観光サービス、滞在型施設の充実など新たな事業活動の広がりも期待できます。そうなれば、地元の人にとっても、より住みやすい地域になるでしょう。

～そして健康アイランド九州へ～

九州は四方に開かれた土地です。九州新幹線開業により鹿児島県への来訪者が増えることでしょう。また、長崎県は、中国との歴史的交流窓口であり、福岡県は環境モデル地域として来訪者が増えています。各方面からの来訪者が、九州の中でゆったり回遊して欲しいと思います。鹿児島の取組をモデルとし広域連携を進め、九州全体を世界的な健康リゾートアイランドにしていこうではありませんか。

かごしま中小企業応援センターがスタート!



開所式（平成22年4月1日）

県内中小企業が抱えている様々な経営課題に対応するため、財団法人かごしま産業支援センター、鹿児島商工会議所、鹿児島県商工会連合会、鹿児島県中小企業団体中央会の商工4団体がコンソーシアム（連合体）を組み、「かごしま中小企業応援センター」として、平成22年3月26日付で経済産業省から採択（九州で12か所）を受け、平成22年4月1日から業務を開始しました。

「かごしま中小企業応援センター」では、県内の商工4団体が密接に連携し、

- ①相談窓口の設置
- ②専門家派遣
- ③セミナーの開催

などを行い、地域資源活用プログラムや農商工連携等の新事業展開、創業、事業再生、再チャレンジなど中小企業への高度・専門的な経営課題への対応を支援しています。

中小企業応援センターの特徴

○支援課題

専門家派遣を通じて、5つの高度・専門的な経営課題に対応します。

①新事業展開

■経営革新

中小企業の新事業展開に向けた計画策定・実施・検証・改善（PDCA）を支援し、経営革新計画の承認に繋げ、着実に実施する体制の構築を支援します。

■地域資源活用

地域の特徴的な素材や技術（地域資源）の活用によって、中小企業が新商品開発や販路開拓、ブランド構築等を行う際に必要とする支援を行います。

■農商工等連携

農林漁業者との連携（農商工等連携）によって、中小企業が新商品開発や販路開拓、ブランド力構築を行う際に必要とする支援を行います。

■新連携

分野を異にする事業者が有機的に連携し、その経営資源（設備、

技術、個人の有する知識及び技能その他の事業活動に活用される資源）を有効に組み合わせる新事業活動を行うことによる新たな事業分野開拓のために必要とする支援を行います。

②創業、事業再生及び再チャレンジ

■創業

創業を目指す方を支援するため、創業に必要な知識・ノウハウ等を付与するとともに、各種創業関連施策を活用し、質の高い創業に向けた支援を行います。

■事業再生

中小企業経営者の事業再生を支援するため、財務諸表等に基づく経営診断の実施や中小企業再生支援協議会との連携による再生支援を行います。

■再チャレンジ

事業継続の見通しがつかない中小企業経営者の事業転換や廃業経験者の再起業（再創業）を支援するため、財務諸表等に基づく経営診断の実施や、早期の事業転換や再起業を支援します。

③事業継承

親族内及び親族外への事業承継時に生じる様々な課題に悩む中小企業経営者や後継者等を支援するため、事業承継に関する専門家等のネットワークを有する中小機構の事業承継コーディネーターと連携しながら、円滑な事業承継に向けた支援を行います。

④ものづくりの高度化

中小企業のものづくりの高度化を支援し、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の特定研究開発等計画の認定等に繋げ、着実に研究開発を実施する体制の構築を図るとともに、事業化への支援を行います。

⑤新たな経営手法への取組

■ITを活用した経営力強化
中小企業が、IT活用による財務会計の整備や管理会計の導入等により、自らの経営課題の把握や経営計画の策定、目標達成状況のモニタリングを可能とする仕組み構築を支援します。

■知的資産経営

中小企業が有する技術や創造力、人脈や信頼等の無形の資産（知的資産）を文書化（「見える化」）し、信用力・経営力の強化に繋げる取組を支援します。

○中小企業応援センターが 用意する支援ツール

①専門家派遣

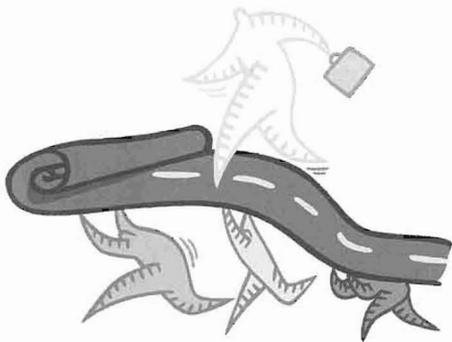
中小企業からのご相談や支援機関からの要請に応じて、中小企業の抱える高度・専門的な経営課題の解決に最適な専門家を派遣します。

②セミナー開催

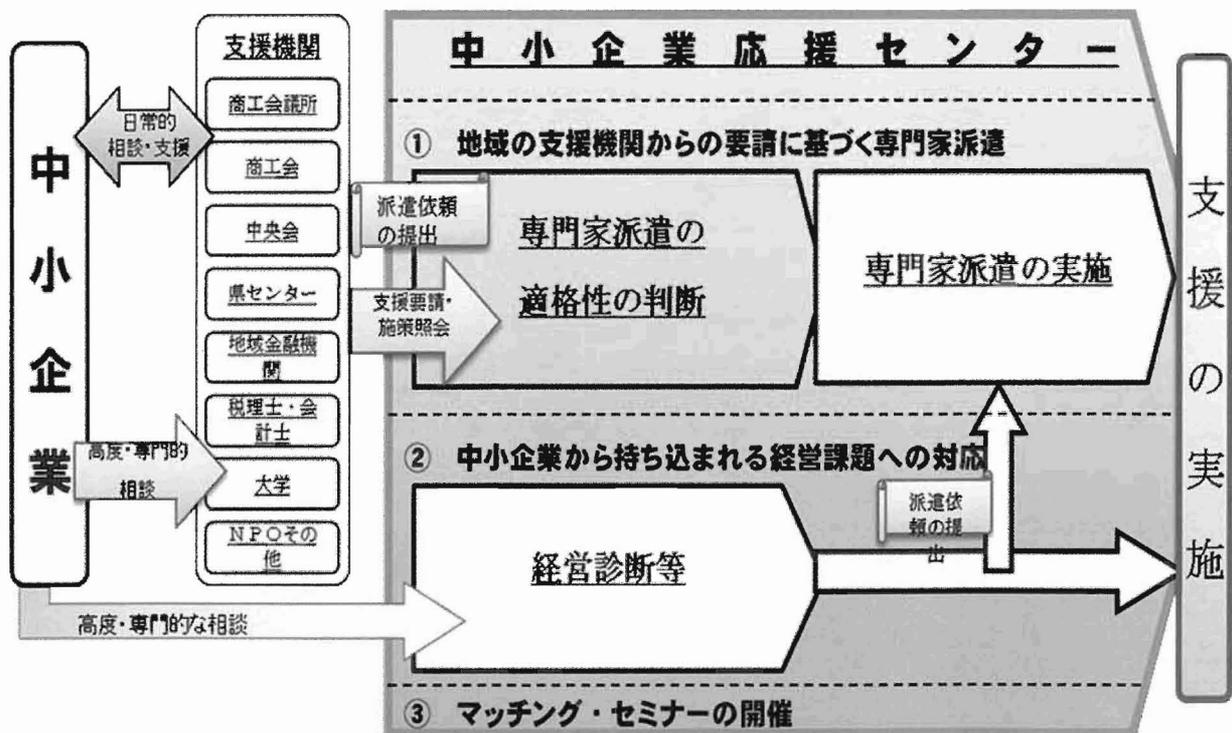
セミナーを開催し、経営課題解決に有益な情報の提供等を行います。

③窓口相談

経営課題に対応した相談窓口を定期的に開設し、課題を把握した上で、各種支援に繋がります。



中小企業応援センターの支援の流れ



かごしま中小企業応援センター

- ・ (財)かごしま産業支援センター TEL : 099-219-1529
- ・ 鹿児島商工会議所 TEL : 099-225-9533
- ・ 鹿児島県商工会連合会 TEL : 099-226-3773
- ・ 鹿児島県中小企業団体中央会 TEL : 099-222-9258

実践！10活用

トータルコスト 削減への挑戦

皆さんこんにちは、富士ゼロックス鹿児島は今富と申します。前回（2010年2月号）は「IT経営のススメ」と題して中小企業がIT経営を実現する為のポイントをご紹介させていただきました。今回は実際にITを活用して効果を上げておられる企業の事例を紹介させていただきます。

◆はじめに

今回、事例として紹介させていただきます。南さつま市加世田小湊にある社会福祉法人 幸尋会 介護老人福祉施設 ようとく園（養徳園）様です。介護保険システムの複雑化に伴い、社会福祉法人の事務作業も多様化し、事務処理のスピード化や情報の共有、コスト削減は避けては通れない課題となってきました。また、介護

ようとく園の職員の方々が
（向かって右端が榊山事務長）



福祉職員の勤務形態の複雑さによる適正化のチェック等に膨大な時間を費やしているという課題もありました。そこで、ようとく園様では文書の電子化ならびにソフト管理ソフトを導入することでこれらの課題を克服されました。

◆トータルコスト削減

月ベースで一万枚を超える紙文書の出力と、その文書管理、また過去の膨大な資料整理に忙殺されており、その維持管理に掛かるトータルコストは計りしれませんが、そこで文書管理ソフトを導入し、紙の電子文書化を図り、コス

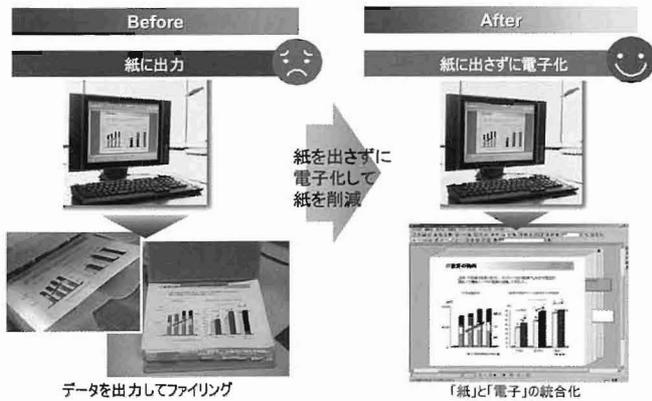
ト削減・業務の効率化・組織力の強化・セキュリティ強化に取り組みることになりました。

◆紙中心の環境からの脱却

まず手始めに電子情報（PC作成資料など）を「紙に出さずに電子化」（図①）し、出力枚数の削減につなげました。紙文書の出力には、ケアプランなど、紙文書として必要不可欠なものから、FAX、議事録や報告書、回覧文書など多岐にわたります。

その中で、出力枚数として侮れないのがFAXです。行政からの通達や関連事業所からの連絡、業

● 電子情報を「紙に出さずに電子化」し、出力枚数の削減につなげます。

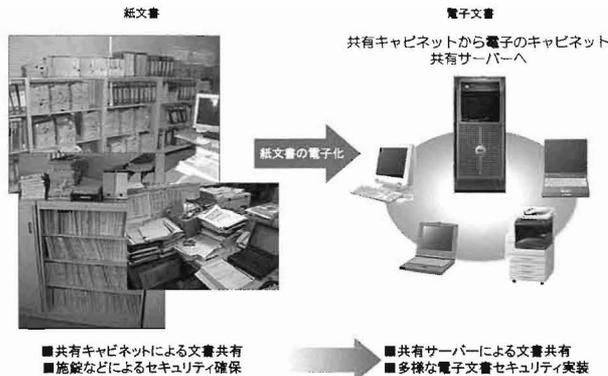


図①

者からの見積りや諸連絡、そして無駄な広告FAX…。この広告FAXだけでも日に10枚は下らないから馬鹿になりません。そこで、このFAXを全て『文書管理ソフト』に出力することにより、紙出力はゼロになり、FAXの仕分けや管理も机にいながら出来るため、FAX配布による移動時間もゼロ、ファイリング業務も大幅に軽減されるといった効果が即時に現れました。FAX管理に成功し、引き続き議事録や報告書、回覧文書なども同様に文書管理ソフトに出力を移行。その削減効果は絶大で、8カ月（3月末現在）で39・6万円のコスト削減を実現。年間削減目標40万円を早期にクリアすることができました。

◆文書共有・統制環境構築

また、紙文書のデメリットの一つに保管の問題もあり、軽視できません。膨大な紙文書の管理には、バインダーや保管庫、はたまた文書箱（段ボール箱）など、手間とスペースが必要となります。これを、バインダー↓フォルダに、キャビネット↓サーバーへ移行することにより、その場に居ながら、検索・閲覧・回覧などの文書共有が随時行えます。（図②）



図②

◆シフト管理ソフトによる業務効率アップ

介護福祉施設に限らず様々な業種状態で社員やアルバイトのシフト等を作成する管理者の方はもちろんのこと従業者の方も多くの悩みを抱えています。

【シフト作成者の悩み】

- ・シフトを作成するのに時間が掛かる（1週間くらい掛かることもある）
- ・適正化のチェックに膨大な時間がかかる
- ・個々人の相性や新人とベテランの組み合わせ等が大変
- 【従業者の悩み】
- ・急な休みが取りづらい（シフト作成者に嫌な顔をされる）

項目	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
総時数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総コスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図③

特定の個人に負荷が集中してしまう
 ・希望通りのシフトが組まれない
 これらの問題を解決する為に、
 ようとく園様ではシフト管理ソフトを導入されました(図③)。今まで非常に時間の掛かっていた勤務表の作成が条件を入力するだけで済むに作成できることや、従業者の急な休みにもすばやく対応できることでシフト作成者の作業負担を削減できました。また、従業者の負荷の平準化、適正化のチェック等がすばやく行えるようになったことで他のグループとのバランスや適正な人員配置が可能となりました。さらにシフト作成者の精神的負担の軽減や従業者の方々も休みが取りやすくなったこと

とによる職場環境の改善にもつながりました。

◆地域に開かれた法人を目指して

最後に、ようたく園の樺山事務長はIT化を進めたことで削減できた時間やコストを有効に活用することに於いて次のように述べられています。

「ようたく園では、地域に必要とされる法人であるため、積極的な情報発信に努めています。一つに広報誌(年4回)の発行。法人の活動内容や、介護サービス利用者の近況や思い出まで広く発信。平成20年10月には、社団法人全国老人福祉施設協議会の広報コンテストで最優秀賞を受賞するなど高く評価されました。

また、地域交流の一環としてフラダンスチームを持ち、法人内外のイベントに参加し、喜んでいただいております。当該フラダンスチームには男子チーム(10名)もあり、マスコミ等でも取りあげられるなど、地域・法人のPRに一役かかっております。

この他、地域でのボランティア活動も実施。隣接地に小学校があることから、毎朝登校時の交通安全全立哨(横断歩道旗振り)、下校児童の安全を見守る「安全パトロール」など、社会福祉法人の使命として地域貢献活動に努めています。今後も地域のニーズに合わ

☆筆者紹介☆

今富 学 (Manabu Imatomi)

- =資格=
- ITコーディネータ、ISMS審査員補
- =所属=
- 富士ゼロックス鹿児島株式会社
- システム営業部長
- 〒890-0056 鹿児島市下荒田1-1-1
- TEL:099-254-4222
- URL:http://www.fujixerox.co.jp/kgx/
- Mail:m.imatomi@kgx.fujixerox.co.jp



せ、活動の幅を広げたいと考えています。
 経営者の方々の「IT活用」に向けた取組みに、少しでもお役にたてれば幸いです。

女性経営者登場!

桜島の素材を活かして



有限会社さくらじま旬彩館
代表取締役 中島 孝子

鹿児島市桜島横山町1722-48
Tel 099-293-3387
Fax 099-293-3383

きっかけは

平成10年4月、主婦専業の私が二人の子供の進学・入園で昼間の時間が空くようになり、ちようどタイムング良く「桜島の加工品作りをしてみないね」というお誘いを受けました。仕事を始めるというよりは、ボランティア活動に近い形での新メンバーとして、平成10年度の加工グループの総会に参加させていただきました。

当時のメンバーの方々は、私の母と同じくらいか、それよりもっと年配の方が多く少し不安を感じながらの入会でした。

しかし、何より物を作る事が好きだったので、最初は現場で先輩方に色んな加工技術を教わり、幅広い商品作りに役立つように極力研修会等にも参加させていただきました。

そんな中、自分たちで運営していくことになり、そこで、私に白羽の矢が立ち、加工はもちろん経営管理まですることになりました。

簿記経験の全くない私は、当時の鹿児島農業改良普及センターが実施していたパソコン複式簿記講習会に約半年通い、何とか理解できるまでになりその後、10年かけて財政、製造、販売、商品管理、勤務シフト等の環境作りをしてまいりました。



さくらじま旬彩館の商品

社員にささえられて

平成7年4月にこの桜島町農産加工グループが結成され、これまでに諸先輩方が大変御苦労をされてここまで築き上げて来た桜島の加工品作りに対して、これからの私達に何が出来るのか、また、打ち続く桜島の降灰に悩む農家の生産者の為に何をしたらいいのかを考えさせられ、日々商品開発に取り組んでまいりました。その中で一番恵まれた事は、社員のメンバー一人ひとりが私を支えてくれ、何を始めるにも瞳を輝かせ積極的に協力してくれる姿勢でした。このメンバーのためにも何が出来るのか、さらに私の出来る事に挑戦していかねければならないと思います。そして、若輩者で人生経験も浅く頼りないですが、皆の力を借りて、今後ますます大きく成長していきたいと思います。

素晴らしい素材をいかして

(財)かごしま産業支援センターの平成21年度重点産業種研究開発支援事業に採択され、多大な成果を上げる事が出来たと同時に、大きな自信を持ってました。約8カ月間という期間の中で、桜島小みかんの青切り小みかんの新商品開発に取り組みました。素晴らしい研究メンバーの方々にもめぐり会い、本当に充実した8ヶ月間でした。そして、改めて私達の住んでいる桜島で育った桜島小みかんは素晴らしいみかんであることが分かり、その小みかんで作る加工品はもっと素晴らしいんだという事が証明されたように思いました。

来年3月の新幹線全線開業に向け、今後さらに本物を追求したモノ作りと桜島のPRに努めてまいりたいと思います。



さくらじま旬彩館のみなさん



発表する迫社長

「シラスパルーンを利用した エコクリーナーの製造・販売」

有限会社タラチネケミカル
代表取締役 迫 正人
日置市吹上町中原2459-1
TEL: 099-296-6877 FAX: 099-296-6876
E-mail: tarachinekemikaru@olive.
plala.or.jp
http://www.tarachine.jp

発表内容

〈企業紹介〉

平成13年頃からすべてのガラス面（車両、船舶、温泉施設、窓ガラス等）や陶器類、ステンレス製品、石材等の水アカ、油膜除去エコクリーナーの開発をスタートし、4年の歳月をかけて完成しました。平成17年11月に南タラチネケミカルを設立、国内特許を取得。

会社設立後テスト販売を3年以上にわたり実施し、1回のクレームも発生しなかったため、今年より本格的な販売を始めました。JR九州の新幹線、在来線、大手バス会社、有名ホテル等での実績もできました。

〈商品開発のきっかけ〉

シラスパルーンでボディ磨きのテストをさせてもらいに中古屋さんへ行くと、「ボディーよりガラス面の水アカ、油膜が簡単に除去できると全国で売れる」との話からスタートしました。

私は、もともとヨットマンでシラスパルーンの事は何もわかりませんでしたので、鹿児島県工業技術センターの協力をいただきながら、他社製品の長所、短所を調べ、他にない水アカ・油膜除去エコクリーナーの開発ができました。



【タラチネケミカルの商品】

〈商品の特徴〉

シラスパルーンはガラス質の硬度がガラス面の硬度とほぼ同時であるために、粒径が多少大きくてもガラス面等に全くキズ付けることなく水アカ、油膜を除去できます。

他社製品は、研磨系の場合、硬度の硬い物質を使用しているため、粒径を小さくしなければ対象面にキズがついてしまいます。粒径が小さいと水アカ、油膜の除去が非常に難しくなります。

当社の製品は、水アカ、油膜、酸焼けなどに対応する3種類の物質をいれることにより、よりスピーディーに仕上がり、また、環境に優しいエコクリーナーです。

なお、平成21年度鹿児島県発明くふう展で鹿児島県知事賞を受賞しました。

発表後の成果・感想

二水会で発表の機会を与えていただくまで一度も製品の紹介を行ったことはありませんでした。

今回、より多くの方に水アカ、油膜はきれいに除去できることを知っていただき、ビジネスチャンスが広がりました。

今後は、もっと多くの方に認知していただくことが大事であると思ひ、機会あるごとに展示会などにも参加させていただきたいと思っています。発表の機会を与えていただき、改めて感謝しています。

今後の展望

商品の認知度を高めるための努力、そして新しい商品開発、社会ニーズにあった商品を皆様に提供していきたい、営業に力を入れ一般市場を含め全国に広げていきたいと思っています。海外へも市場を広げるための行動も始めています。

【使用前】



【使用后】

鹿児島県から新しい制度のお知らせです

観光関連施設整備のための融資制度を創設しました

観光かごしまよかど資金

融資対象者 県内で1年以上事業を行っている中小企業者及び組合で、県内において観光関連事業を営んでいるか参入を図ろうとするものであって、観光旅行者の来訪の促進に必要な次のいずれかの施設の整備※を行うもの

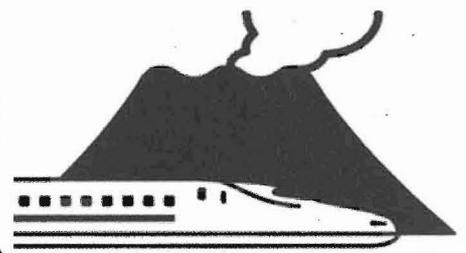
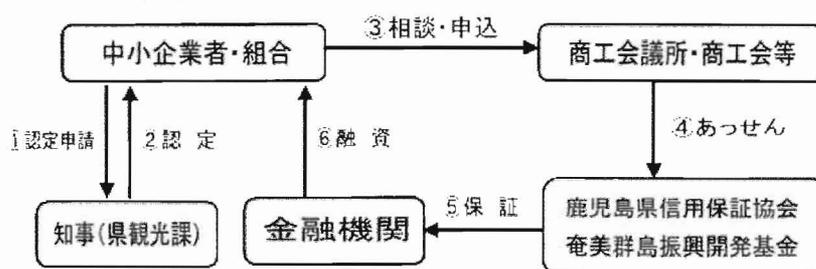
- ① 宿泊施設
- ② 郷土料理の提供施設
- ③ 地域特産物の販売施設
- ④ その他の観光に関する施設

※「施設の整備」とは、建物の新築・増改築・改修、設備の導入または更新をいいます。

融資条件

融資限度額	運転資金・設備資金 1億5,000万円 (ただし、運転資金は施設の整備に伴い必要となる経費に限る。)
利率	1年以内 年1.9% 1年超3年以内 年2.0% 3年超5年以内 年2.1% 5年超7年以内 年2.3% 7年超10年以内 年2.7% 10年超 変動金利
保証料率	年0.13%～年1.58%(リスク考慮型信用保証料率による)
融資期間	運転資金 7年以内(据置24月以内) 設備資金 15年以内(据置36月以内)
償還方法	毎月均等分割
連帯保証人	保証機関の定めるところによる
担保	保証機関の定めるところによる
取扱金融機関	鹿児島銀行, 南日本銀行, 鹿児島信用金庫, 鹿児島相互信用金庫, 奄美大島信用金庫, 鹿児島興業信用組合, 鹿児島県医師信用組合, 奄美信用組合 商工中金, 福岡銀行, 肥後銀行, 宮崎銀行, 西日本シティ銀行, 熊本ファミリー銀行, 宮崎太陽銀行(県外に本店を有する金融機関については県内営業店に限る。)
借入申請に必要な書類	○信用保証委託申込書 ○県民税及び市町村民税の納税証明書 ○観光かごしまよかど資金対象事業認定書 ○その他知事, 保証機関及び取扱金融機関が必要と認める書類

融資の流れ



2011年3月 九州新幹線全線開業

— ご相談は最寄りの商工会議所・商工会等へどうぞ —

研究シーズの紹介 この発明を製品化してみませんか？

鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者の研究成果を企業の新規事業等へ活用していただくために、産学官連携や技術移転活動を行っています。今回は、鹿児島大学が出願し、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介いたします。

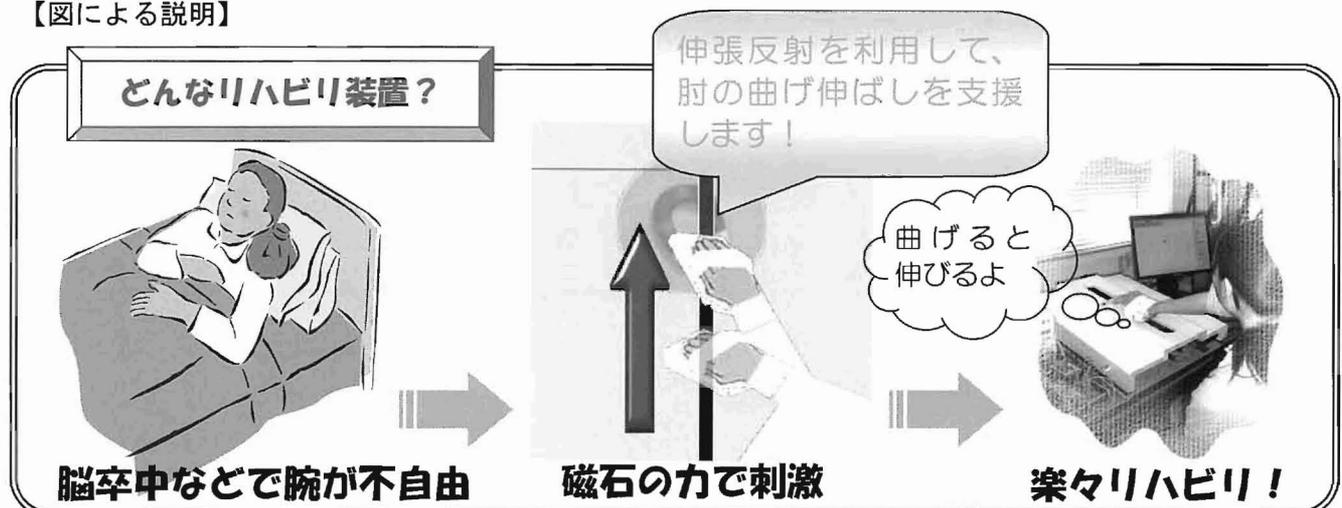
【発明の名称】 力覚提示装置 【出願人】 国立大学法人鹿児島大学

【発明者】 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授
鹿児島大学大学院理工学研究科 准教授

【出願番号】 特願2007-326502 【出願日】 平成19年12月18日

【発明の概要】 本発明は脳卒中により腕の自由が利かなくなった患者のリハビリ装置です。永久磁石と電磁石を組み合わせた補助装置で、伸張反射を利用したリハビリを支援します。

【図による説明】



従来は機械の力で他動的に屈伸運動していましたが、この装置では自力で動かすため、機械の誤作動などの不安を解消しています。

☆鹿児島大学の工学部と医学部の先生が連携して作成した試作機は機械に対する不安を解消する安全装置を搭載しています。

☆リハビリの成果をPCに記憶できます。

☆共同発明者の医学部教授はリハビリについて、広い知見を持ち評価されています。
この装置以外にも多数の発明品があります。

鹿児島大学との共同研究や
事業化についてのご相談
をお待ちしています！

【移転対象】

★福祉器具製造メーカー
★介護装置製造メーカー
など

株式会社鹿児島TLO 【<http://www.ktlo.co.jp/>】

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学内

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632

E-Mail info@ktlo.co.jp

(財) かがしま産業支援センターで新しい事業が始まりました!

(財) かがしま産業支援センターでは、県内の中小企業に対し、より充実した支援を行うために、鹿児島県からの委託により、平成22年度から新しい事業を開始しました。

産学官連携サポーター事業

鹿児島県内中小企業の新製品・新技術等の研究開発を促進するため、県内の大学等が保有する研究シーズと県内企業のニーズをマッチングする機会の創設や、大学等の研究シーズを県内企業向けに発表する場の設定、さらに国等の公募型共同研究事業等の獲得を促進するための事業説明会等を実施するため「産学官連携サポーター」を設置しました。

事業内容

- ・ **ラボツアーの開催**
研究パートナー、共同研究企業を探す機会とするため、鹿児島大学、鹿児島高専や各地域企業の研究室などを訪問するツアーを開催します。
- ・ **公募型事業説明会の開催**
国などが実施する公募型事業についての説明会を開催します。
- ・ **提案書記入説明会の開催**
公募型事業の獲得に向けた申請書の記入についての説明会を開催するとともに、必要に応じて提案方法についての指導を行います。
- ・ **個別相談窓口の設置**
提案に意欲的な企業に対しては、個別相談窓口を(財) かがしま産業支援センター産学官連携課に設置し、提案書の具体的作成方法やプレゼンの仕方等を指導します。

中小企業等人材高度化育成事業

地域の将来を担う中小企業等の人材育成、レベルアップを図るため、人材育成推進員を設置し、地域の中小企業等が抱える課題や必要としている研修等について調査をし、その結果を踏まえて新たに人材育成事業を実施します。

事業内容

- ・ **研修ニーズの調査**
(財) かがしま産業支援センターで実施している研修事業の普及啓発を行うとともに、地域の中小企業等が抱える問題、課題、要望等を直接訪問等により調査を行い、ニーズに応じた新たな研修項目の検討を行います。
- ・ **新規施設内外研修の実施**
研修ニーズの調査に基づき、新たな施設内研修等を実施するほか、地理的、時間的問題から施設内での各種研修の受講が難しい中小企業等に講師を派遣するなど施設外研修を実施します。
施設内研修 10講座
施設外研修 10回
- ・ **研修情報の提供**
市町村、大学及び各種団体等が行う研修等の調査を行い、現在(財) かがしま産業支援センターが実施している研修等にこれらを加えてデータベース化し、中小企業等へ情報提供します。

中小企業の皆様の情報化推進を支援します

鹿児島県のふるさと雇用再生特別基金事業を活用して、21年度から実施しているECコーディネーター設置事業を拡充するとともに、新たに**中小企業情報活性化応援事業**を始めました。

中小企業情報活性化応援事業では、県内中小企業の皆様のホームページ作成・更新に関する小規模・多様な相談や派遣ニーズに無料で支援（助言・指導）する体制をとり、ICT活用レベルの底上げを目指すとともに、中小企業からの発注ニーズに応えられる県内中小ベンダーとのマッチングによる受注機会の増大を図ります。

さらに、好評を得ている**ECコーディネーター設置事業**では電子商取引（ネット通販等）における商品の企画、広告、販売促進など支援（助言・指導）するマーケティングコーディネーターを設置して中小企業の皆様のEC導入・活用を促進します。

相談や派遣に伴う費用は無料です。是非ご活用ください。

中小企業からの相談内容

- ・ネットショップを始めたい
- ・ネットショップの売上があがらない
- ・ネットショップの集客を増やしたい
- ・ネットショップのリニューアルを考えている

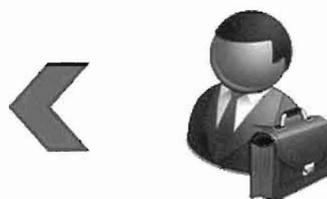
重複部分は協力して対応する

- ・ホームページやネットショップを作成してくれる業者を紹介して欲しい
- ・業者に依頼する前の注意点について教えて欲しい
(県内ベンダー企業の訪問ならびにリスト作成)

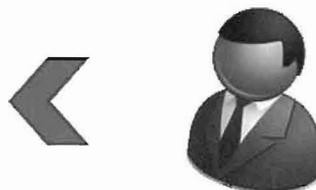
重複部分は協力して対応する

- ・ホームページを作りたい
- ・ブログを始めたい
- ・検索サイトで表示されない
- ・ホームページの更新ができない
- ・ホームページのリニューアルを考えている

支援職員



- ・ECコーディネーター
- ・マーケティングコーディネーター



- ・マッチングアドバイザー
(2名)



- ・ホームページアドバイザー
(3名)

支援(助言・指導)

中小企業

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から発注の申し込みがきておりますので、あっせんの御希望がありましたら御連絡ください。
 また、センターのホームページでも御覧いただけます。（<http://www.kric.or.jp>）

◆発注情報

No.	所在地	発注品目	数量	加工内容	発注条件	有効年月日
1	薩摩川内市	自動機製作	協議	・自動機組み立て ・電気配線組付け	構内下請での対応	H22.7.31

平成22年度下請振興事業のご案内

平成22年度のビジネス支援課の事業概要を紹介いたしますので、積極的な御利用をお願いいたします。

◆取引の紹介あっせん

仕事を「発注したい」・「受注したい」企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引先の紹介や各県支援機関との連携による広域的な紹介あっせんを行います。

<取引あっせんのしくみ>

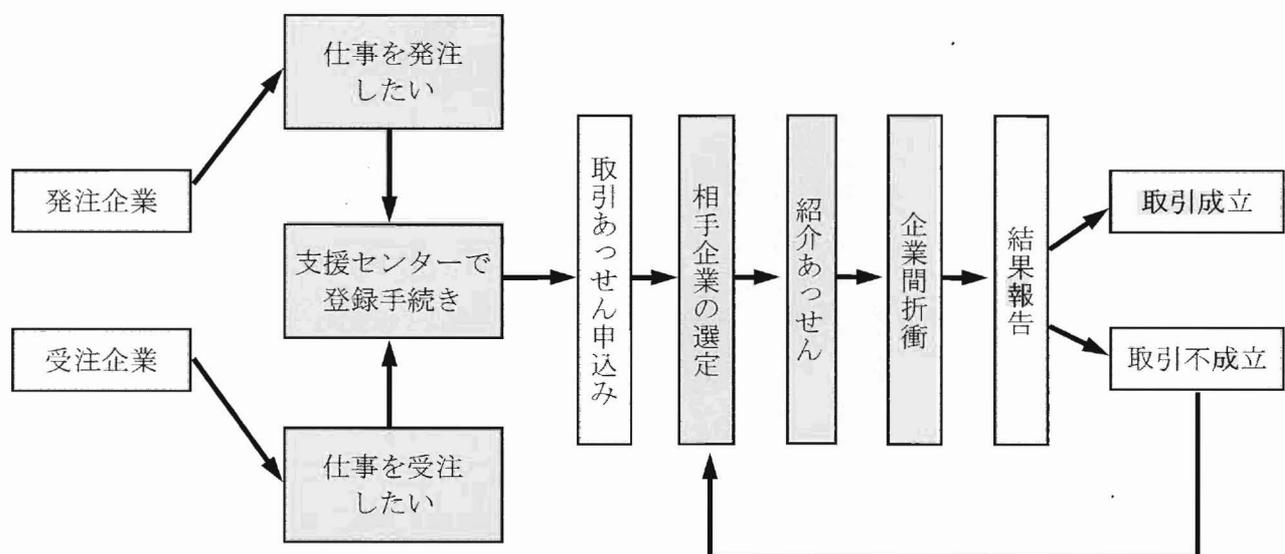
- ①まず、企業の概要を当センターに登録してください。
- ②各企業からの申し出（受注・発注）により希望に応じた企業の紹介・あっせんを行ないます。
 （県内企業の紹介をはじめ、県域を越えた企業紹介も行ないます。）
- ③企業間折衝後、結果の報告をお願いします。
 （取引不成立の場合は、再度、企業紹介を行ないます。）

センターへの登録及びあっせんなどは、全て無料です。

【お問合せ先】

（財）かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL : 099-219-1274 FAX : 099-219-1279 E-mail : business@po.kric.or.jp



Information

◆販路・取引先開拓支援

中小企業を対象として開催される見本市への本県中小企業の出展を支援し、加工技術・製品開発力を広く紹介するとともに、販路及び新規取引先開拓の機会を提供します。

また、発注企業と本県受注企業による個別商談会を県外で開催するとともに、県単独の商談会を鹿児島市内で開催するなど、本県中小企業の新規取引先の開拓を支援します。

開催日および開催場所については、詳細が決まり次第、当センターのホームページや情報誌「KISC」等に掲載するとともに、対象となる業種の登録企業に御案内いたします。

広域商談会（現地商談会）

開催日：平成22年11月（予定）

開催場所：関西地区（予定）

鹿児島県取引情報交換面談会

開催日：平成23年2月（予定）

開催場所：鹿児島市内

◆各種情報の収集・提供

専門調査員が県内企業を訪問し、発注・受注案件や各種情報等を収集・提供するほか、中小企業が抱える技術、生産管理、新規取引先の開拓等の諸問題に対する適切な助言を行います。

また、受発注情報に関する調査を定期的に行い、当センターのホームページや情報誌「KISC」で受発注案件を提供します。

<専門調査員の御紹介>

当センターでは、発注情報及び企業動向の情報収集や提供のため、専門調査員による巡回訪問をさせて頂いております。また、経営・技術等の諸問題についても、その解決に向けて適切なアドバイスをいたしますので、お気軽にご相談ください。

しんやしき たつみ
専門調査員：新屋敷 辰美（中小企業診断士）

（主な業務）

- ・発注情報及び企業動向の情報収集・提供
- ・中小企業に対する加工技術、生産管理等の諸問題に関する助言

（得意分野）

- ・販売管理、財務管理



◆取引適正化の推進

下請取引改善講習会の開催や情報誌「KISC」での情報提供等により、下請関連法令（下請代金支払遅延等防止法・下請中小企業振興法）の普及・啓発に努め、トラブルの未然防止と取引の適正化を推進いたします。また、中小企業の取引上のさまざまな悩みや相談ごとに親身に対応するために、下請かけこみ寺を設置し、下請法や中小企業の取引問題に知見を有する専門家が適切なアドバイス等を行います。

相談を希望される方は、事前のご連絡をお願いいたします。

○その他

- ・九州合同発注開拓調査（年2回、6・11月に実施、調査発注企業約1,100社）
- ・登録企業概要調査（平成22年11月調査予定）
- ・登録企業名簿（平成23年3月発行予定）
- ・情報誌「KISC」（隔月発行）
- ・取引あっせん効果分析調査 他

【お問合せ先】（財）かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL：099-219-1274 FAX：099-219-1279 E-mail：business@po.kric.or.jp

上野原ビジネスプラザ・インキュベータールームの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベータールームを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

- ・インキュベータールーム 22室（平成22年5月1日現在6室が空室）
面積：31.5㎡～111.15㎡
月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）
なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。
- 所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ
〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30
TEL：0995-45-3511 FAX：0995-48-5270 E-mail：gyoumu@po.kric.or.jp

「かごしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かごしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先■（財）かごしま産業支援センター 情報支援課
TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？

こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL：<http://www.kric.or.jp/>



メール配信サービス「KISCNEWS」の御案内

当センターでは、イベントや研修など各種のお役立ち情報をEメールで無料配信するサービスを行っております。配信を希望される方（機関または個人）は、次の当センターホームページからお申し込みください。

お申込み先URL：

<http://www.kric.or.jp/publication/kiscnews/top.htm>

■問合せ先■
（財）かごしま産業支援センター 情報支援課
E-mail：kiscnews@po.kric.or.jp



情報KISC 5月号

発行者：財団法人かごしま産業支援センター
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270（代表）
FAX 099-219-1279
E-mail kisc@po.kric.or.jp
URL <http://www.kric.or.jp>